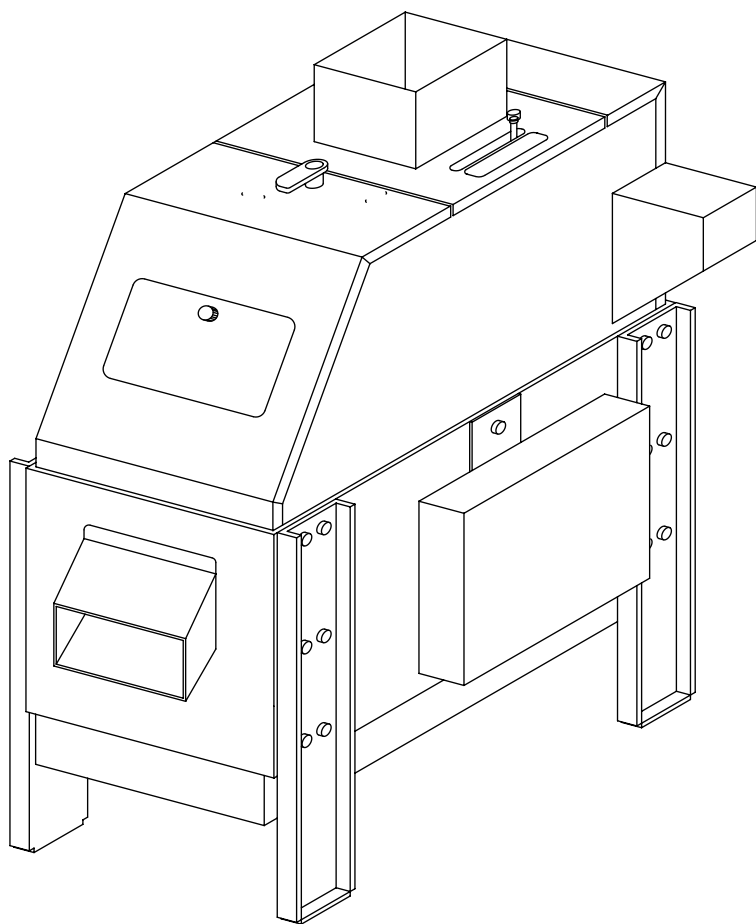


高精度・高速流動選別 石抜機

ストーンピッカー P-35B

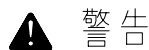


取扱説明書

この度は、マルマス石抜機
”ストーンピッカーP-35B型”
をお買い上げ頂き
厚くお礼申し上げます。

ご使用のまえには
取扱説明書を熟読され
末長くご愛用下さい。

なお、不明瞭な点がございましたら
販売店もしくは当社に
お問い合わせ下さい。

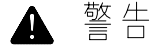


警告

- この取扱説明書を熟読され充分理解された上で、本機の操作及び保守・点検を行って下さい。
- この取扱説明書を本機の操作及び保守・点検を行う場合にいつでも見られるように大切に保管して下さい。

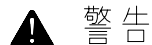
製造元：マルマス機械株式会社

重要なお知らせ



- ◎ この機械の操作及び保守・点検を行うときは、必ずこの取扱説明書に従って下さい。
- ◎ この取扱説明書に従わなかったために、あるいは誤用や無断改造がなされたために、けがを負ったり損害が発生したとしても、当社及びその販売会社は一切その責任を負いません。

- 1) . 近年、農業機械には、新しい材料や加工方法の採用により、さまざまな危険が数多く発生する傾向にあります。
この機械の取扱上の危険についても、すべての状況を予測することは出来ません。
そのため、この取扱説明書の記載事項や機械に表示してある注意事項はすべての危険を想定しているわけではありません。
従って、機械の操作または日常点検を行う場合は、この取扱説明書の記載及び機械本体に表示されている事項に限らず、安全対策に関しては十分な配慮が必要です。
- 2) . この取扱説明書について、質問やより詳しい情報が必要な場合は当社又は購入店にお問い合わせ下さい。
- 3) . この取扱説明書において、万一、ページの<乱丁>や<落丁>などがあった場合は、お取り替えいたしますので、お手数ですが当社又は購入店までご連絡下さい。



- ◎ この機械の操作及び保守・点検を行うときは、必ずこの取扱説明書の指示・警告に従って下さい。
もし、疑問点または不明な箇所があれば、当社または購入店に問い合わせるまで、作業を進めないで下さい。

目 次




1. 危険防止のために	
1-1: 警告用語の種類と意味	1 頁
1-2: 本機の使用にあたっての諸注意	2 頁
1-3: 警告・注意ラベルの貼り位置と説明 (1)	4 頁
1-4: 警告・注意ラベルの貼り位置と説明 (2)	5 頁
2. ご使用になるまえに	
2-1: 本機の構成名称	6 頁
2-2: 本機の仕様	7 頁
2-3: 電気工事に関する注意	8 頁
2-4: 外形図	9 頁
2-5: 本機の設置に関して	10 頁
2-6: 本機の高さ調節方法	11 頁
2-7: 米供給に関する注意	11 頁
2-8: ホコリ箱のセット方法	12 頁
2-9: 回転方向の確認	13 頁
3. 運転方法	
3-1: 各スイッチ及び異常ランフ ^o の説明	14 頁
3-2: 運転方法と運転時の注意事項	15 頁
3-3: 供給シャッターの説明	16 頁
3-4: 自動間欠装置の説明と調整	17 頁
3-5: 石の取り出し方	19 頁
3-6: 異常ランフ ^o が点灯したときのサーマルリセット方法	20 頁
4. 各部の調整・点検・掃除	
4-1: ベルトの張り方	21 頁
4-2: 石抜金網の掃除方法	22 頁
4-3: ホコリ箱 (石抜機に蓄積されるホコリ・糠) の掃除方法	23 頁
4-4: 昇降機用コンセントについて	24 頁
5. 不調なときの原因と対策	
5-1: 石が取れにくい場合は	25 頁
5-2: 不調なときの原因と対策一覧	26 頁

1. 危険防止のために

1-1. 警告用語の種類と意味 *

- ◎ 危険防止のために、本機の危険な箇所には警告ラベルを貼付してあります。この警告ラベルでは、危険度の高さ（又は事故の大きさ）にしたがって次の3段階に分類しています。

以下の警告用語がもつ意味を理解し、本書の内容（指示）に従って下さい。

警告用語	意味
 危険	切迫した危険な状態を示し、手順や指示に従わないと死亡もしくは重傷を負う場合に使用されます。
 警告	潜在する危険な状態を示し、手順や指示に従わないと死亡もしくは重傷を負う場合に使用されます。
 注意	潜在する危険な状態を示し、手順や指示に従わないと中・軽傷を負う場合、機器・機械が損傷する場合又は原料や製品に不具合が生じる場合に使用されます。



警告： 危険防止のために、危険な箇所には危険・警告・注意の各ラベルが添付してあります。このラベルの注意書きを必ず守って作業を行って下さい。守らずに作業をしますとケガをする場合があります。又、各ラベルがはがれたり、読みずらくなった場合は即座に新しいラベルと交換し同位置に貼り付けて下さい。新しいラベルは当社にて準備しております。（ラベルは有償です）



注意： 作業を行う前には必ず取扱説明書を熟読され、本機を把握してから
取扱説明書に従って作業を行って下さい。
本機の性能を充分発揮出来ず安全上支障をきたすことがあります。



警告： 本機を設置する際は、準備作業を必ず取扱説明書通りに実施し
本機の回りには決して過熱性の物・電気的な高容量物・コンプレッサー等の
ノイズ発生物などの危険な物は置かないようにして下さい。
本機に悪影響を与え安全上支障をきたすことがあります。



警告： 危険防止のために、危険な箇所には危険・警告・注意の各ラベルが添付してあります。
このラベルの注意書きを必ず守って作業を行って下さい。
守らずに作業をしますとケガをする場合があります。
又、各ラベルがはがれたり、読みづらくなった場合は即座に新しいラベルと
交換し同位置に貼り付けて下さい。
新しいラベルは当社にて準備しております。



警告： 当社に無断で本機を改造したり、取り付けられている物を取り外したり
加工をほどこし本機と関係のない物を取り付けたりすることは絶対にしないで下さい。
本機の性能を充分発揮出来ず安全上支障をきたすことがあります。



警告： 本機を使用する場合の電気工事に関しては、電気工事資格者又は電気工事資格店にて
本機の手取説明書内に記載されている基準を十分満たす工事を実施すること。
自分で勝手に工事はなさないで下さい。
本機に悪影響を与え安全上支障をきたすことがあります。
又、既存の動力配線をお使いになる場合は本機の基準に適合している事を確認後
本機を使用して下さい。





警告： 使用頻度に合わせて本機の点検・掃除は必ず実施して下さい。
本機の性能を充分発揮出来ず安全上支障をきたすことがあります。
又、点検・掃除を行う場合は必ず電源プラグを抜いて作業して下さい。
電源プラグの抜き差しにおいては必ずプラグ本体を手で持って行って下さい。
ケーブル自身をひっぱらないで下さい。
守らずに作業をしますとケガをする場合があります。





警告： 本機の御使用后、及び保管の際には必ず、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。


注意： 上記以外の注意点及び詳細は各作業内容に合わせて記載してあります。
よく熟読され、必ず厳守して下さい。


 注意： 本機の御使用后、及び保管の際には必ず、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。
感電・漏電・火災の原因となります。


 注意： 水のかかる場所や火気の近くでは使用しないで下さい。
感電・漏電・火災の原因となります。


 注意： 電源プラグを抜く場合は、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜いて
下さい。
感電や発火する場合があります。


 警告： 改造はしないで下さい。修理技術者以外の人は分解や修理をしないで下さい。
火災・感電・ケガの原因となります。


 警告： 本機を水につけたり、本機に水をかけたりしないで下さい。
ショート・感電の恐れがあります。

 警告： 電源プラグの刃（プラグ先端）及び刃の取り付け面にほこりが付着している場合は、
よく拭き、ほこりを取り除いて下さい。
火災の原因となります。

 警告： 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるい場合は本機を
使用しないで下さい。
感電・ショート・発火の原因となります。

 警告： 指定の電源以外では使用しないで下さい。
火災・感電の原因となります。

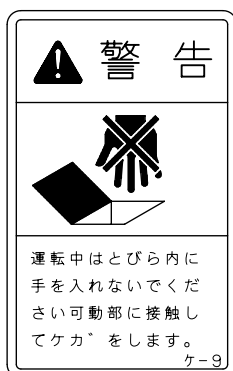
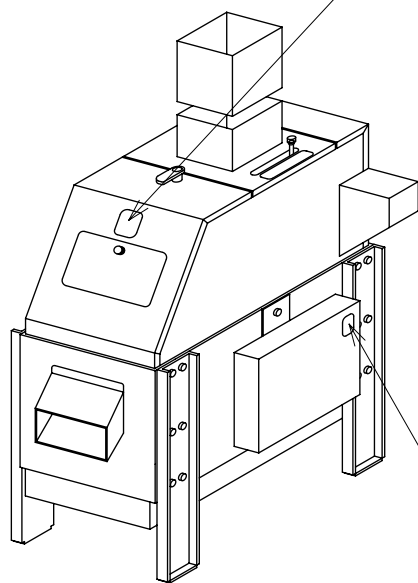
 警告： 電源コードを傷つけないで下さい。
無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたり、高温部に近づけたり、
重たいものを載せたり、挟みこんだり、加工した場合は、電源コードが破損し、
火災・感電の原因となります。

 警告： 電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込んでください。
感電・ショート・発煙・発火の原因となります。

注意： 上記以外の注意点及び詳細は各作業内容に合わせて記載してあります。
よく熟読され、必ず厳守して下さい。



警告： 危険防止のために、危険な箇所には危険・警告・注意の各ラベルが添付してあります。
 このラベルの注意書きを必ず守って作業を行って下さい。
 守らずに作業をしますとケガをする場合があります。
 又、各ラベルがはがれたり、読みずらくなった場合は即座に新しいラベルと
 交換し同位置に貼り付けて下さい。
 新しいラベルは当社にて準備しております。



ラベルの説明

扉を開けますと内に揺動部があります。
 運転中にこれらに手で直接接触すると
 ケガをしますので扉を開ける時は
 必ず電源プラグをコンセントから
 抜いてください。
 (注文コード 260-408-11)



ラベルの説明

後カバーを開けると、伝動部があります。
 運転中にこれらに手で直接接触すると
 ケガをしますのでカバーを開ける時は
 必ず電源プラグをコンセントから
 抜いてください。
 (注文コード 260-400-10)



警告： 危険防止のために、危険な箇所には危険・警告・注意の各ラベルが添付してあります。このラベルの注意書きを必ず守って作業を行って下さい。守らずに作業をしますとケガをする場合があります。又、各ラベルがはがれたり、読みずらくなった場合は即座に新しいラベルと交換し同位置に貼り付けて下さい。新しいラベルは当社にて準備しております。

ラベルの説明

運転前には取扱説明書を熟読し、本機機の性能、機能を充分理解してから運転して下さい。

取扱説明書に従わなかったときわ本機の性能を充分発揮出来ず、安全上支障をきたすことがあります。

(注文コード` 260-433-10)



注意

運転前に、必ず取扱説明書を読んで、操作装置の位置とその機能をよく理解してから運転してください。

チ-4

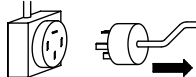
ラベルの説明

点検・掃除等の作業を行う場合は危険防止のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

(注文コード` 260-411-11)



警告



点検、修理及び停電の時は、危険防止の為に必ずスイッチを切り電源プラグをコンセントから抜いてください。

ケ-12

ラベルの説明

点検・修理など作業を行う場合は感電防止のため、必ず電源プラグを抜いて下さい。

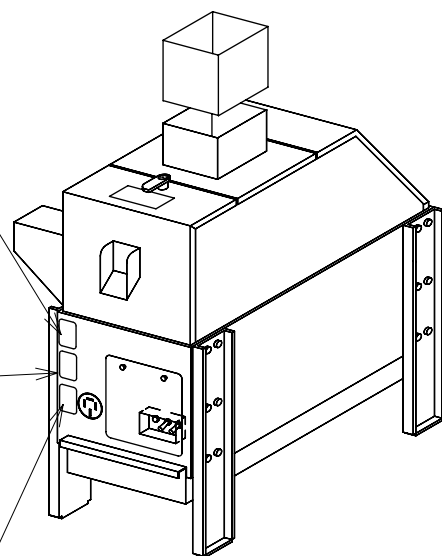
(注文コード` 260-412-10)



警告



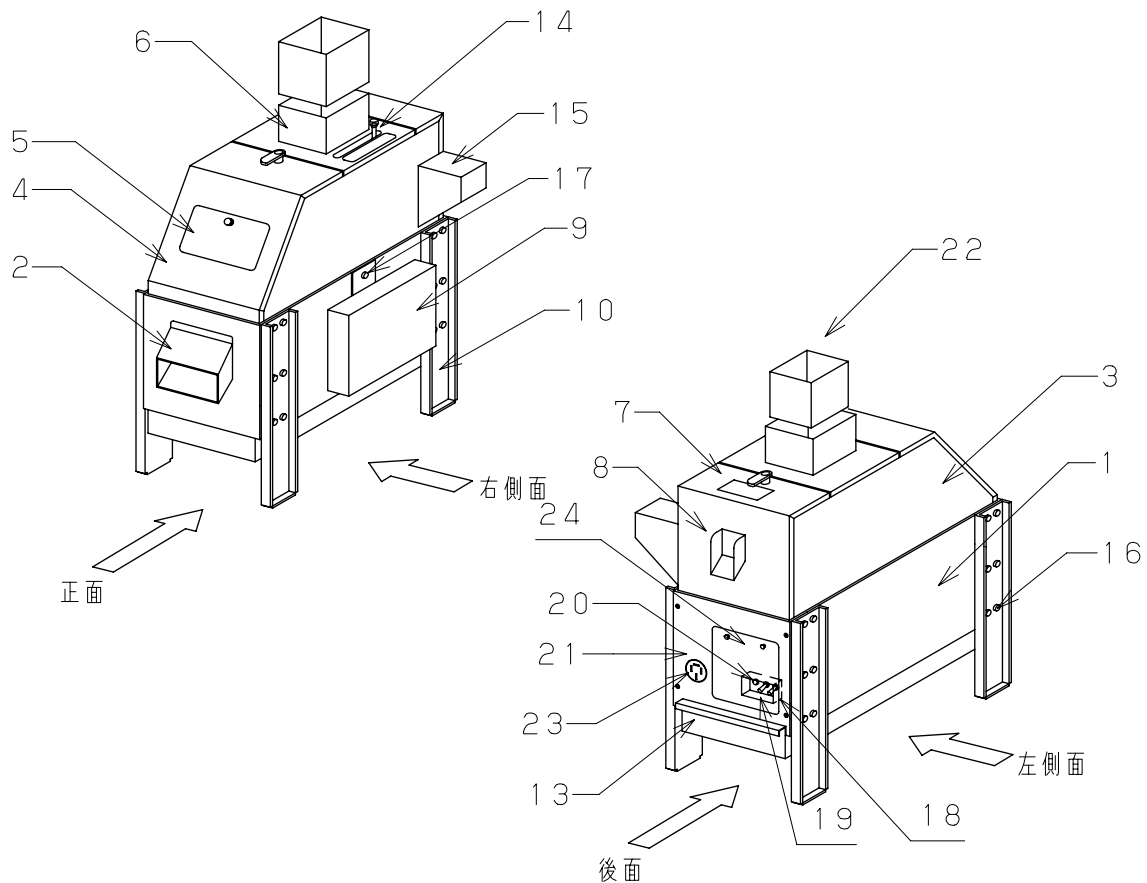
感電防止の為、カバーを開くときは必ず電源プラグをコンセントより抜いてください。



2. ご使用になるまえに

2-1. 本機の構成名称 _____ *

⚠ 注意： ご使用前には必ず取扱説明書を熟読され、本機の性能及び装置を充分理解した上でお取扱い下さい。



1	本体側板	13	ホコリ箱
2	米排出口	14	供給シャッターレバー
3	上カバー	15	自動間欠装置
4	前扉	16	高さ調節ボルト (M6)
5	ノズキ窓扉	17	ヘルトカバー止ネジ
6	米投入口タンク	18	運転スイッチ
7	後扉	19	排出スイッチ
8	石/残米排出口	20	過負荷異常ランプ
9	ヘルトカバー	21	後カバー
10	高さ調節脚	22	米投入口増タンク
11		23	昇降機用コンセント
12		24	電装ボックスカバー



注意： ご使用前には必ず取扱説明書を熟読され、本機の性能及び装置を充分理解した上でお取り扱い下さい。



警告： 電源を接続される場合は、壁に取り付けられているコンセントに直接本機の電源プラグを差し込んで下さい。
コードリール・テーブルタップ（延長ケーブル）等は絶対に使用しないで下さい。
電圧が降下し本機に悪影響を与え、安全上支障をきたすことがあります。

仕 様	
項目	機種 ストーンヒッカーP-35B型
毎時能力	玄米30俵～35俵（1800～2100Kg/h）
	白米25俵～30俵（1500～1800Kg/h）
	粳 20俵～25俵（1200～1500Kg/h）
	（米の状態によって変動します）
外形寸法	幅440/奥行847/高さ1074～1274
張込高さ	894～1274mm（可変）
米排出高さ	284～484mm（可変）
石/残米排出高さ	555～755mm（可変）
本機重量	60Kg
電源	三相200V
モーター	三相0.2kw
昇降機用コンセント	三相200V 4P 0.2kwまで
ブレーカー容量	5A以上
安全装置	過負荷保護サーマル内蔵（手動復帰型）

注意、 本機が使用する電源が、上記に示す電氣的な仕様を充分満足しているか確かめて下さい。



警告： 修理及び点検作業を行う場合は必ず元電源を切ってから実施して下さい。
感電など安全上支障をきたすことがあります。

- ◎ ストーンヒッパ P-35B型に関する電源仕様及び電源に関する注意事項を下記に示します。

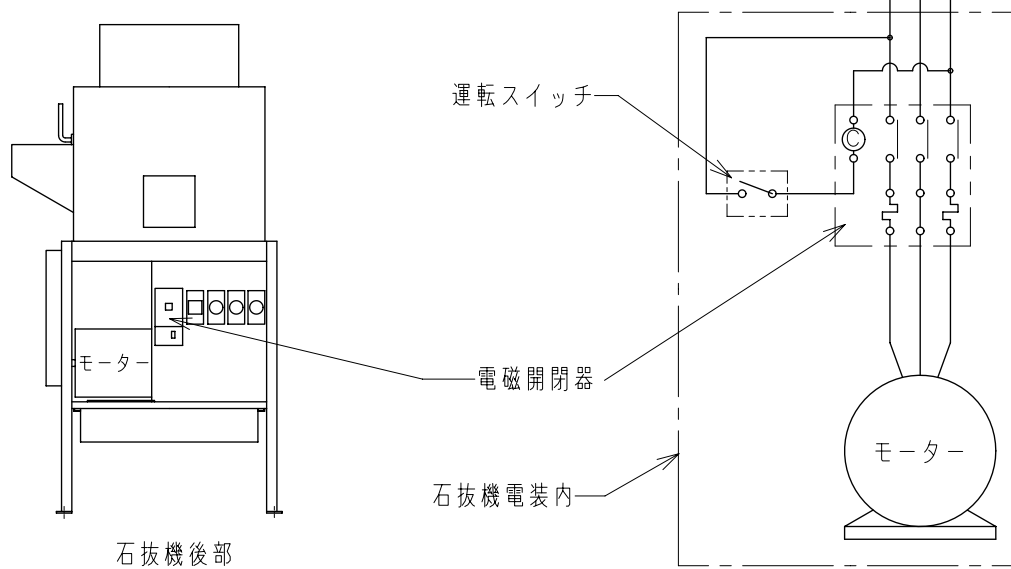
	電 源	モーター容量	ブレーカー容量
P-35B型	三相200V	0.2kw	5A以上

お客様での三相200V電源には必ず右配線図に示すような進相コンデンサーなる物が取り付けられています。

これは、電気料金の低減が目的でありますがお客様でヒューズ式開閉器をご使用になっていて何らかの原因でヒューズが切れた場合切れた線上には進相コンデンサーの影響により100Vが供給されてしまいます。

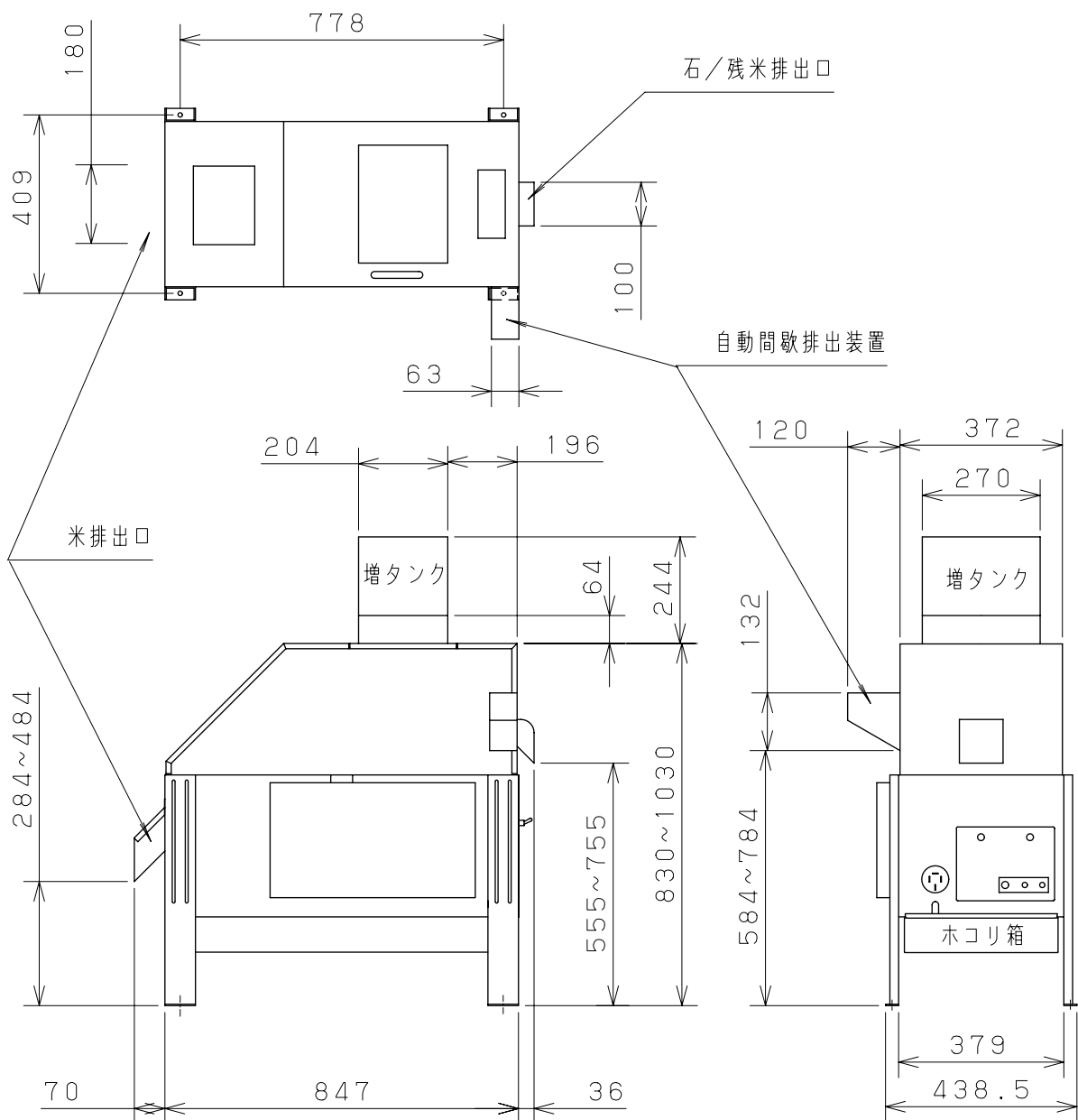
この100Vにより精米機内に取りつけられている電磁開閉器がチャタリング現象を起こし損傷するおそれがあります。

なるべくヒューズ式開閉器はご使用にならずノーヒューズブレーカー等のご使用をおすすめ致します。





注意： ご使用前には必ず取扱説明書を熟読され、本機の性能及び装置を充分理解した上でお取り扱い下さい。





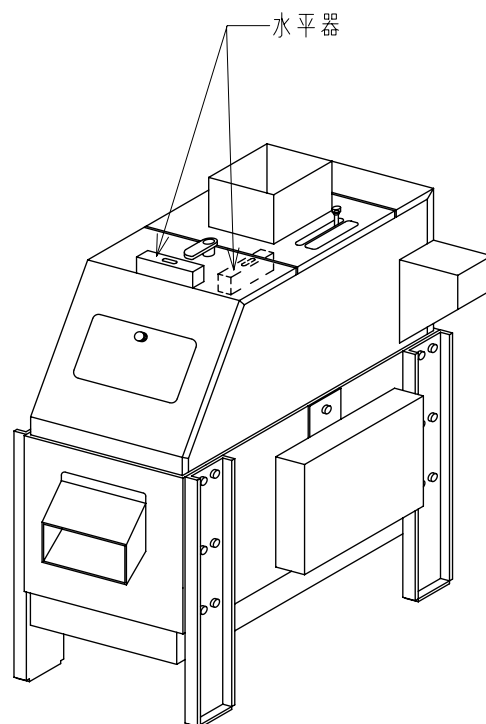
注意： 作業を行う前には必ず取扱説明書を熟読され、本機を把握してから取扱説明書に従って作業を行って下さい。
本機の性能を充分発揮出来ず安全上支障をきたすことがあります。
作業する際には身の回りには充分気を配り、ケガをしないように注意して下さい。



警告： 本機を設置する際は、準備作業を必ず取扱説明書通りに実施し本機の回りには決して過熱性の物・電気的な大容量物・コンプレッサー等のノイズ発生物などの危険な物は置かないようにして下さい。
又、設置する場所は板の間などの床面の弱い所・凹凸な面・傾斜な所は絶対にさけて下さい。
本機に悪影響を与え安全上支障をきたすことがあります。

◎ 下記の点に注意して設置して下さい。

- 1) . 本機を所定の位置まで移動します。
脚にある高さ調節ネジを調節して本機の高さを固定して下さい。
(2-6. 本機の高さ調節方法を参照)
- 2) . 高さの調節が終わりましたら本機をゆさぶり設置面に”カタ”がないことを確認して下さい。
(”カタ”があった場合は設置面を補修するか脚の調節にて”カタ”をなくして下さい。)
- 3) . 本機に水平器を右図に示すように石抜機の上に置き、本機の左右・前後の確認して下さい。
- 4) . 石抜機への米供給装置
(例えば昇降機・粉すり機など)を正しくセッティングして下さい。
(2-7. 米供給に関する注意を参照)

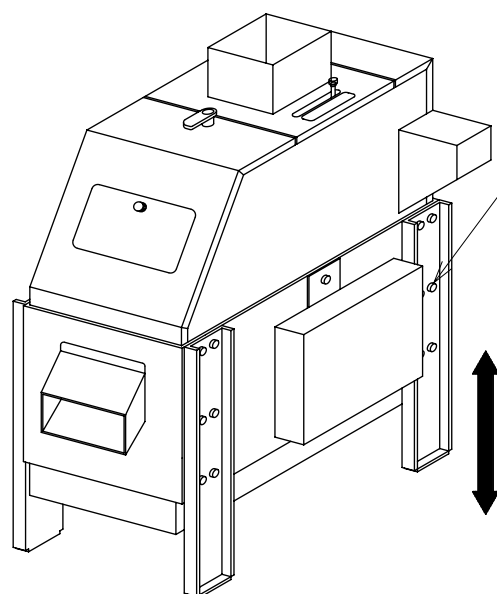


注 意

本機が水平でない。又、本機の設置面に”カタ”があると石抜精度が低下します。

2-6. 本機の高さ調節方法

*

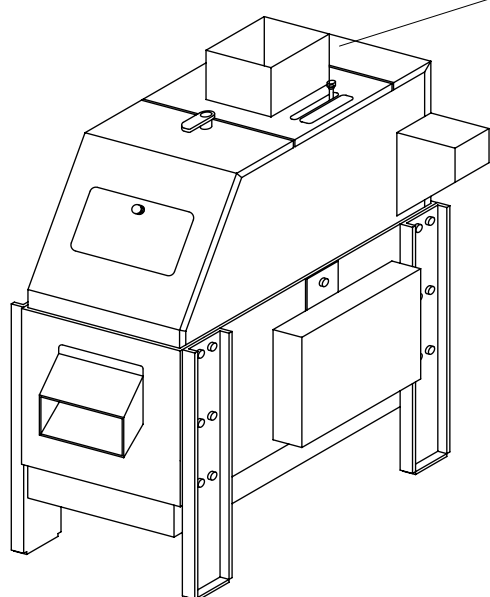


高さ調節ネジ (M6 * 6本)

- ◎ 高さ調節脚の調節ネジ (一脚につきM6 * 6本) をゆるめて下さい。ネジをゆるめましたら高さを調節しネジを閉めて下さい。

2-7. 米供給に関する注意

*



米供給口

ﾀﾞｲﾌﾗｸﾞ
スイッチ

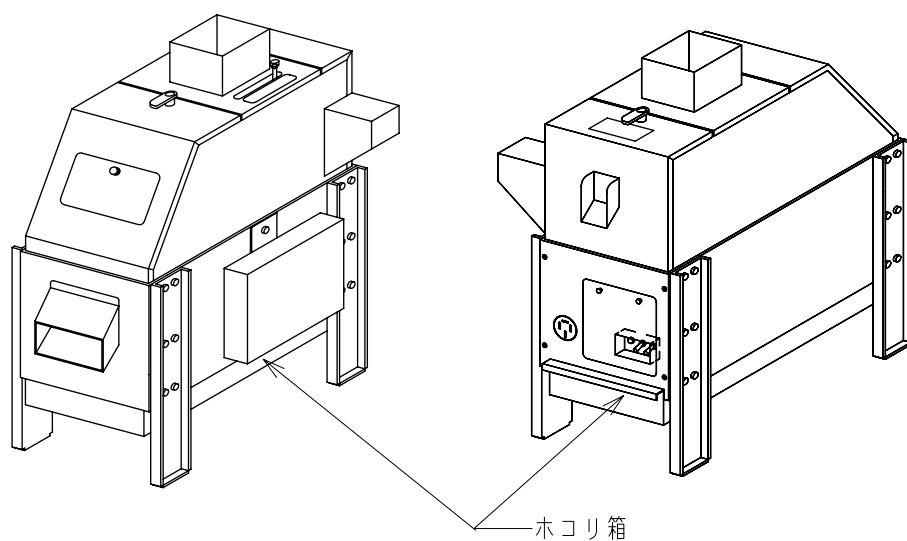
ホｯﾊﾟｰ

米を供給する場合
必ず上図に示すホｯﾊﾟｰ内中央の
米供給口に向けて米を供給して下さい。

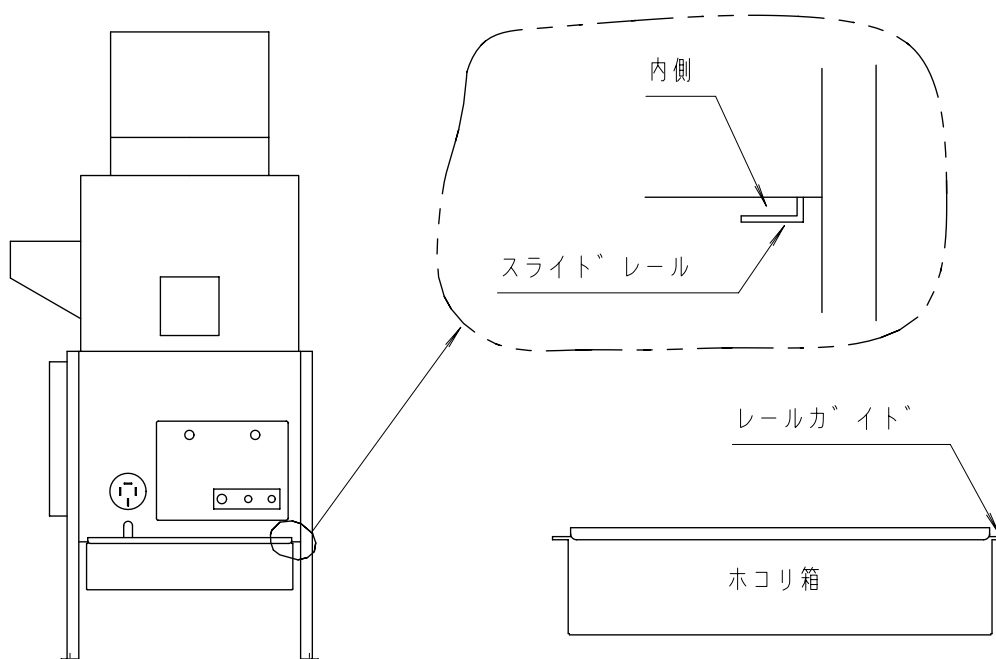
正しく米が供給されませんと
ﾀﾞｲﾌﾗｸﾞスイッチが良好に作動せず
自動運転にて支障をきたす場合があります。



注意： 作業を行う前には必ず取扱説明書を熟読され、本機を把握してから取扱説明書に従って作業を行って下さい。
本機の性能を充分発揮出来ず安全上支障をきたすことがあります。
作業する際には身の回りには充分気を配り、ケガをしないように注意して下さい。

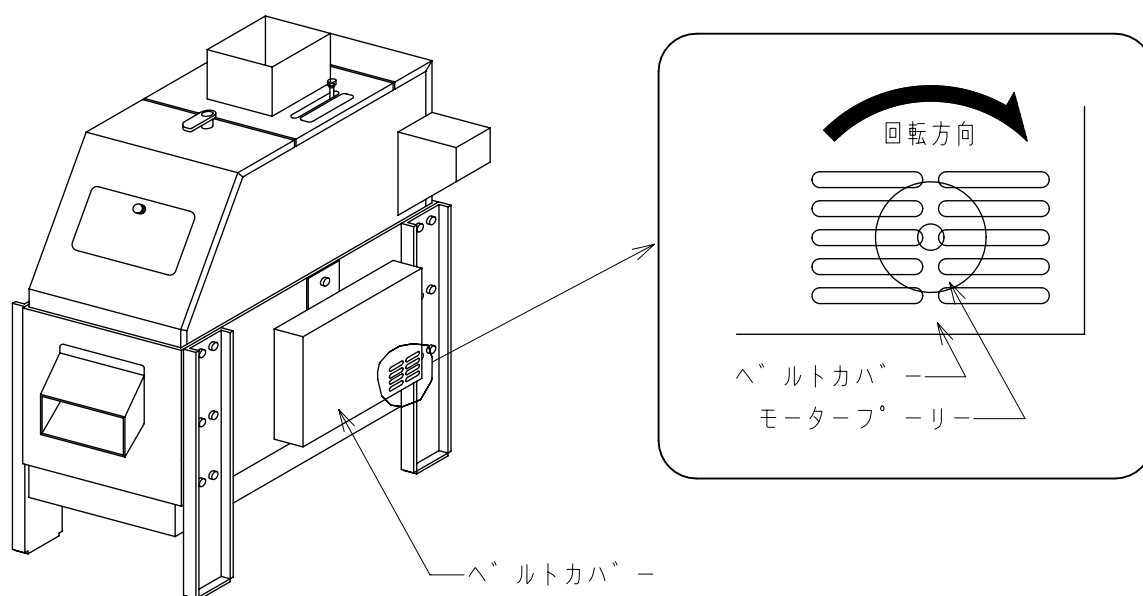


- ホコリ箱は石抜機の前後どちらからでも引き出しすることができます。
セットする際は下図に示すように石抜機の下にあるスライドレールの内側にホコリ箱のレールガイドを入れて水平に押しして下さい。





注意： 作業を行う前には必ず取扱説明書を熟読され、本機を把握してから
取扱説明書に従って作業を行って下さい。
本機の性能を充分発揮出来ず安全上支障をきたすことがあります。
作業する際には身の回りには充分気を配り、ケガをしないように注意して下さい。



- 石抜き機右側面のベルトカバーの右下に長穴があります。
この長穴から内部のモータープーリーが見えます。
本機を作動（運転方法を参照）させ、内部のモータープーリーが
時計方向（右）に回転するのを確認して下さい。

注意

運転前には必ず回転方向を確認して下さい。

3. 運転方法

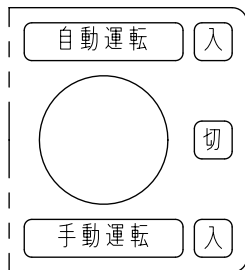
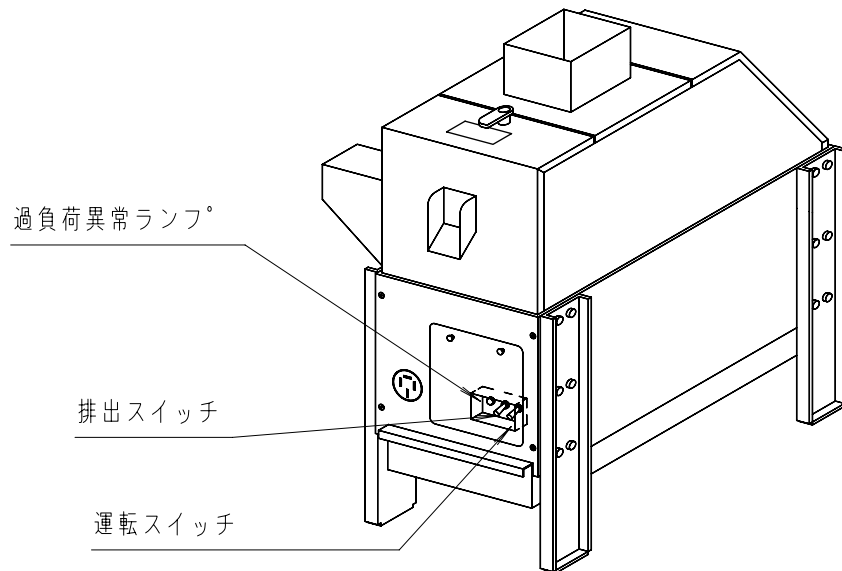
3-1. 各操作スイッチ及び異常ランプ[°]の説明

*



注意：取扱説明書に示す手順にて運転を行って下さい。

それ以外の方法で行いますと安全上支障をきたす場合があります。



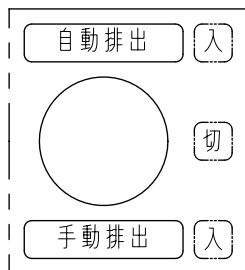
自動運転を開始します（米投入口タンクへ米を入れると起動し米がなくなると停止します）



運転停止



強制的に運転を開始します



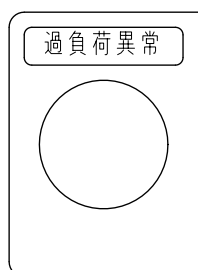
自動間歇装置により自動で石等を排出します



排出停止



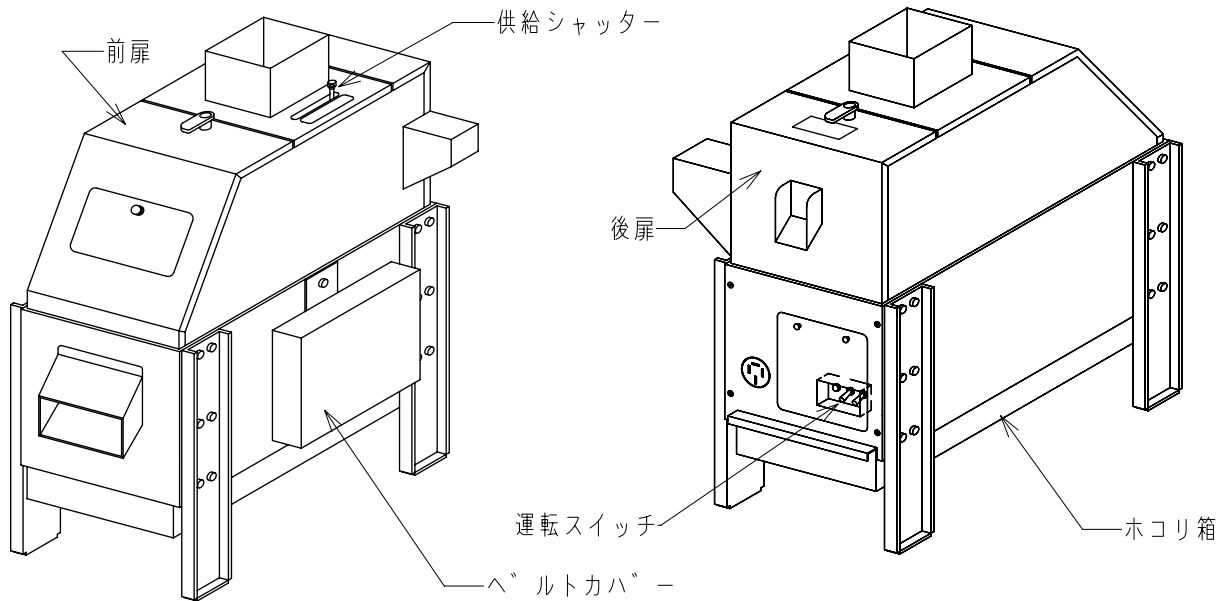
強制的に石等を排出します
（米／残米排出シャッターが開く）



石抜機のモーターが過負荷状態になりサーマルがトリップ[°]したとき点灯します



注意：取扱説明書に示す手順にて運転を行って下さい。
それ以外の方法で行いますと安全上支障をきたす場合があります。



◎ 運転方法

- 1) . 電源プラグをコンセントに差し込んで下さい。
- 2) . 供給シャッターを開けて下さい。(3-3:供給シャッターの説明を参照)

- 3) . 自動運転を行う場合は、運転スイッチを自動運転にして下さい。
- 4) . 米を本機に供給すると、自動的に運転が開始されます。
(米を供給する場合、必ずホッパー中央の米供給口に向けて
米が張りこまれるように、注意して下さい。)
(2-7.米供給に関する注意を参照のこと)

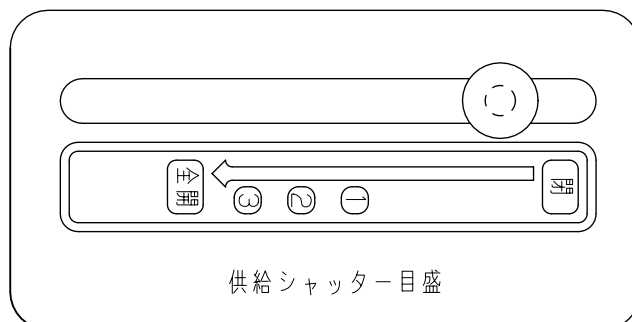
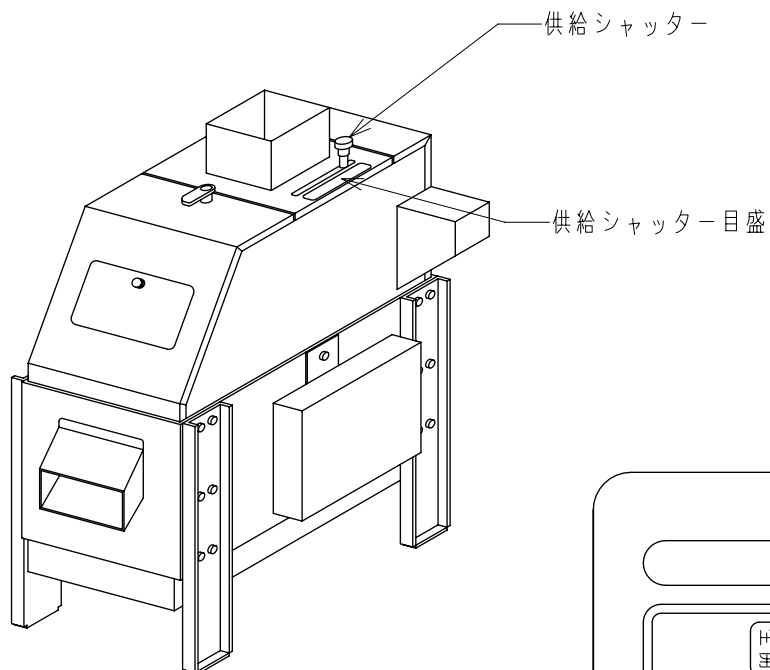
- 3) . 手動運転を行う場合は、運転スイッチを手動運転にして下さい。
- 4) . 運転を開始します。

運転時の注意事項

- 1) . 運転中は前扉、後扉及びヘルトカバーは危険ですので絶対外さないで下さい。
- 2) . 運転時にはキャスターのストッパーは必ず閉めて下さい。
石抜機が振動しますと石抜精度が低下します。
- 3) . 使用後は必ずホコリ箱の中をチェックして、粉カ・ホコリ・ワラクスなど満杯にしないようにして下さい。



警告： 作業を行う場合、身の回りには充分気を配り、可動部には絶対に接触しないようにして下さい。安全上支障をきたす場合があります。



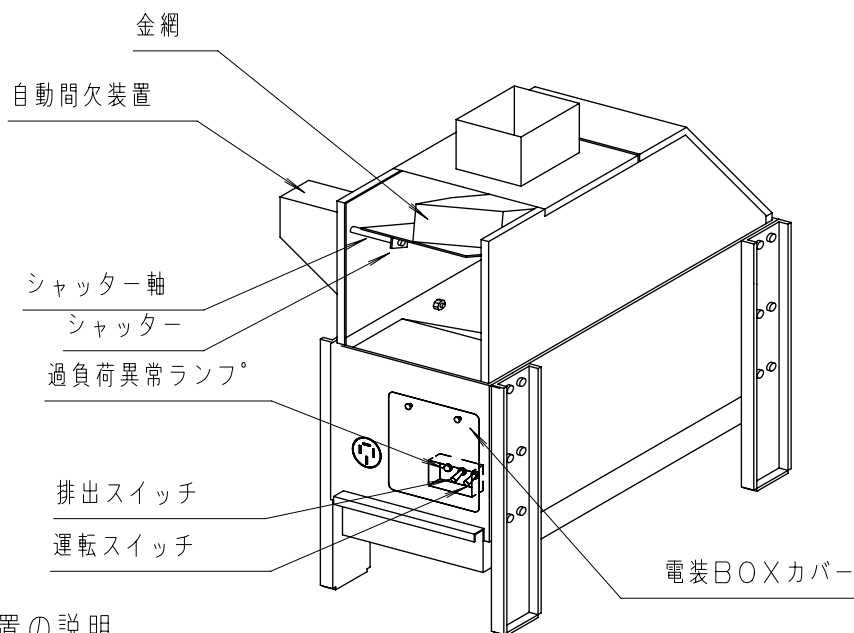
- ◎ 石抜機の毎時能率は供給シャッターが”全開”の位置で通常30～35俵の能率になります。

(注意. 米の状態により能率は多少変動します。)

石が取れにくい場合は
シャッターを絞って（閉方向）下さい。



警告： 作業を行う場合、身の回りには充分気を配り、可動部には絶対に接触しないようにして下さい。安全上支障をきたす場合があります。また、必ず電源プラグは抜いて下さい。感電する危険性があります。



< 1 > . 自動間欠装置の説明

自動間欠装置とは、長時間連続的に石抜機を運転される場合などにおいていちいち人手によって石の排出を行うめんどろな作業を緩和するため石抜機内部の金網上部のシャッターをある一定の間隔で自動開閉し石等を排出する装置である。

(玄米に混入している石が多い場合、長時間運転を続けると石抜機金網の石溜まり部に石が満杯となり、オーバーフローして玄米に石が再度混入するおそれがあるため)

自動的にシャッターを間欠開閉し石を排出します。

混入されている石の量により排出間欠時間が調節出来ます。

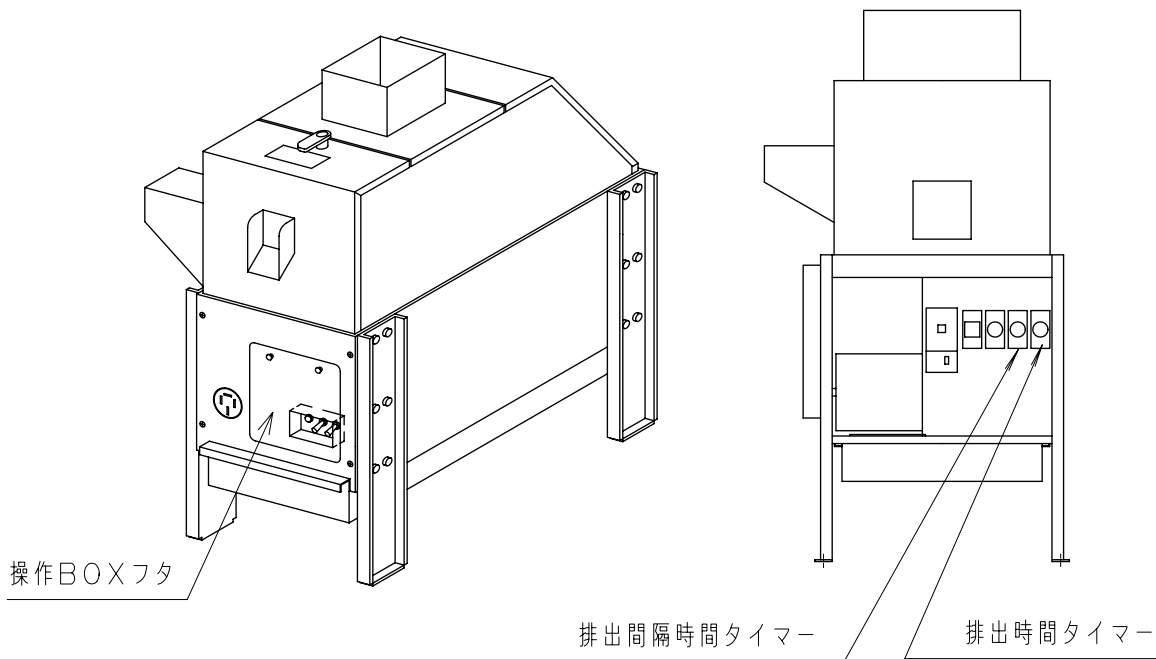
(排出される石には若干玄米も混入しております)

(間欠時間の調整は次ページに示す)

注意 1) . 自動排出をされる場合は石抜機後部の排出スイッチを自動排出にして下さい。

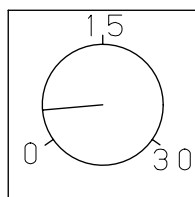
2) . 自動排出される場合は必ず石/残米排出口の下に容器又は紙袋を設置して下さい。

<2>. 自動間欠装置の調整方法



石抜機後部の電装BOXフタを外しますと上右図のように右側にタイマーが3個並んでいます。
 右側の3個のタイマーのうち、右端が排出時間タイマーで右から2番目が排出間隔時間タイマーです。
 下記に詳細を示します。

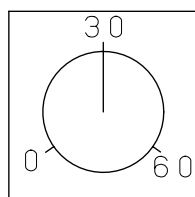
排出時間タイマー



0~30秒

- 排出時間タイマーは石を排出する時間を調整するタイマーです。
 製品は約3秒に設定されています。

排出間隔時間タイマー



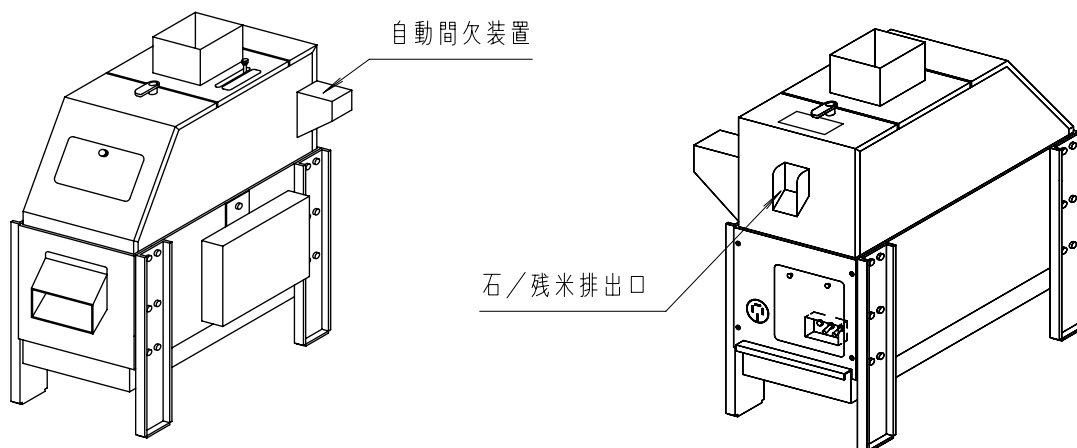
0~60分

- 排出間隔時間タイマーは石の自動排出する間隔を調整するタイマーです。
 製品は約30分に設定されています。

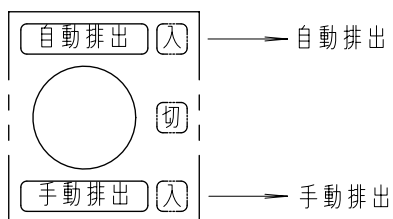
したがって30分毎に3秒間石等を排出するように設定されています。



警告： 作業を行う場合、身の回りには充分気を配り、可動部には絶対に接触しないようにして下さい。安全上支障をきたす場合があります。また、必ず電源プラグは抜いて下さい。感電する危険性があります。



自動間欠装置の排出運転には自動排出と手動排出とがあります。



連続で長時間石抜機をご使用になる場合は、自動排出モードにて石を自動排出しますが、石抜終了後に石抜内部に残った石と米は手動排出モードにて排出して下さい。（詳細は16ページの自動間欠装置の説明と調整をご覧ください。）

下記に手動排出による石と残米の排出方法を示します。

- 1) . 石の取り出しは石抜機が運転中でなければ出来ません。
石抜機を作動させて下さい。（手動運転にて）
- 2) . 石/残米排出口の下に容器をセットする。
- 3) . 自動間欠装置のスイッチを手動排出にする。

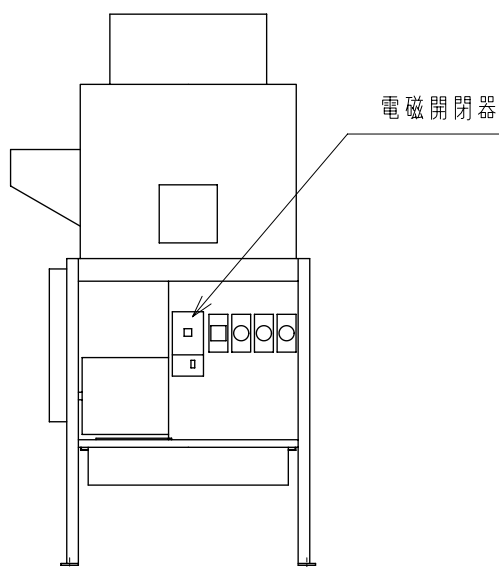
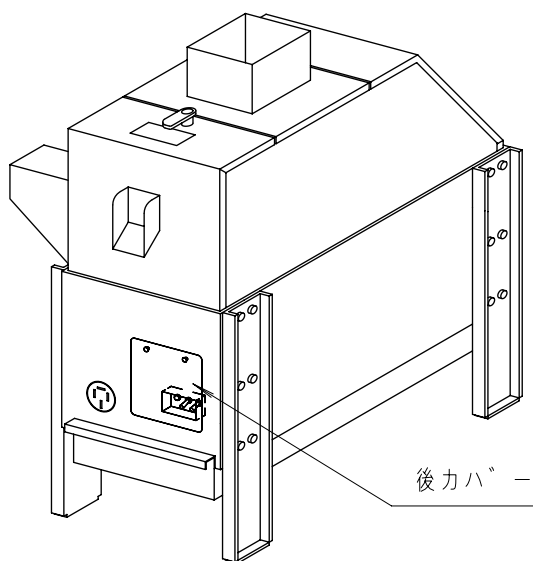
手動排出にしますと排出口より石と残米が混ざって出てきます。

- 4) . 石と残米が混ざらなくなる（玄米のみ）まで手動排出を数回繰り返し、石を排出します。
- 5) . 石と残米が混ざらなくなったら（玄米のみ）、別の容器を準備し、その容器に残米をすべて排出します。

注意. 石と残米が混ざったものは貯留し、石抜機にかけられる量までになりましたら再選別して下さい。



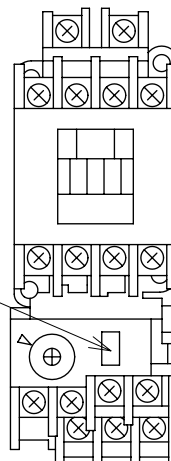
警告： 作業を行う場合、身の回りには充分気を配り、可動部には絶対に接触しないようにして下さい。安全上支障をきたす場合があります。また、必ず電源プラグは抜いて下さい。感電する危険性があります。



● 何らかの原因で過負荷異常ランプが点灯した場合、下記に示すようにメインのサーマルをリセットして下さい。

- (1) . 電源を切る。(電源プラグを抜く)
- (2) . 異常の原因を取り除く。

リセットボタン (白色)
このボタンを押すと
過負荷異常が解除されます。



- (3) . 後部の後カバーをはずしてリセットボタンを押す。

電源を入れ過負荷異常ランプが消灯するのを確認して下さい。

4. 各部の調整・点検・掃除

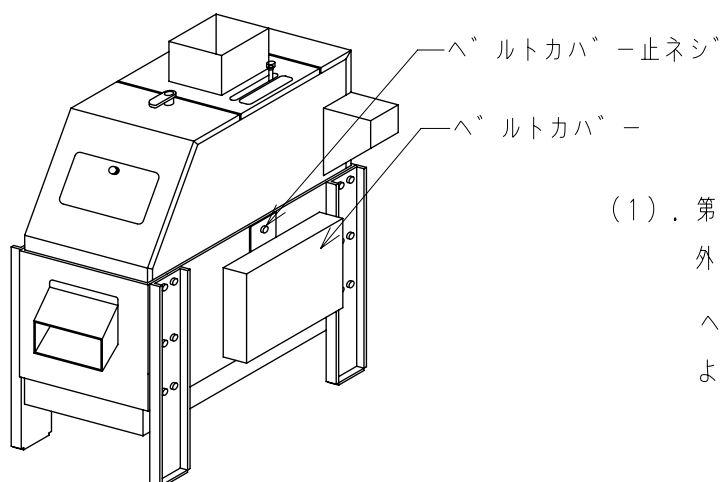
4-1. ヘルムの確認

*



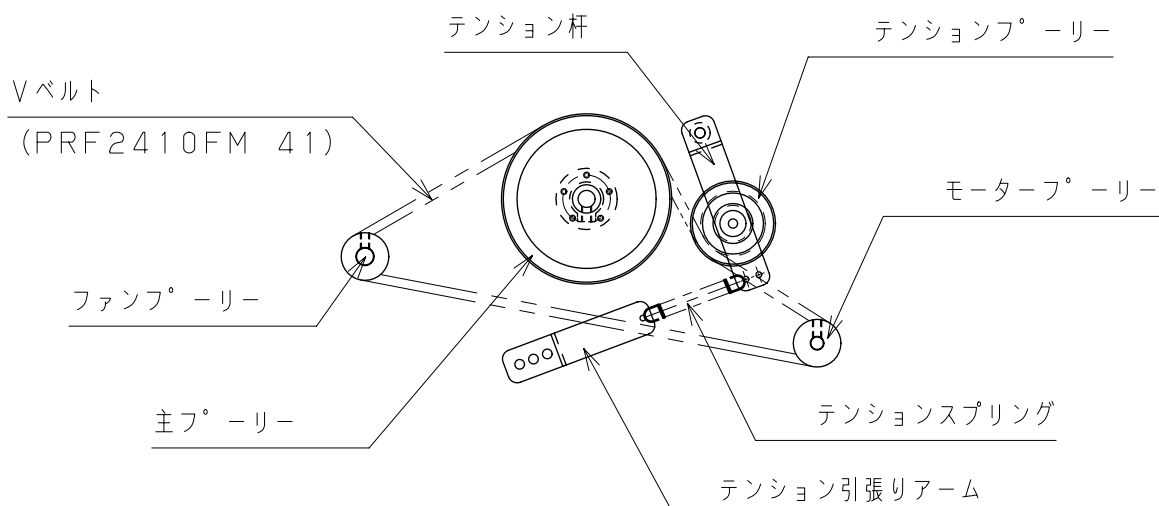
警告： 作業を行う場合、身の回りには充分気を配り、可動部には絶対に接触しないようにして下さい。安全上支障をきたす場合があります。
また、必ず電源プラグは抜いて下さい。
感電する危険性があります。

- ヘルムがゆるみますと本機の石抜装置が正規の回転数を得られず能率・石抜精度の低下につながりまた、本機の過負荷状態を引き起こす原因となります。
ヘルムの点検は本機の運転前に必ず行って下さい。



第1図

- (1) . 第1図に示すヘルムカバ―止ネジを外すとヘルムカバ―が手前に外れます。
ヘルムカバ―を外しますと内が第2図のようになっております。



第2図



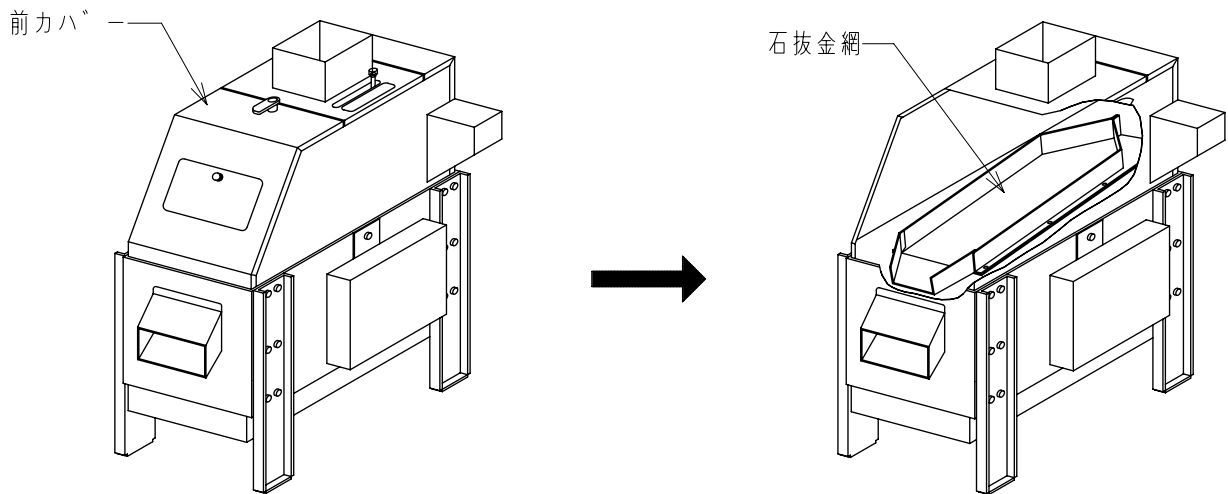
警告： 点検・掃除等の作業を行う場合、必ず電源プラグを抜いて下さい。
安全上支障をきたす場合があります。

- 石抜金網に糠が付着し網目が塞がりますと、石抜機の能率。選別精度が著しく低下します。

石抜機の前カバーを取り外すと、内に石抜金網があります。

この石抜金網の網目を添付のブラシで掃除して下さい。

定期的に掃除して下さい。



注意

石抜金網に糠が付着したり、網目が塞がりますと
石抜機の能率及び石抜精度が著しく低下します。
定期的に点検・掃除をして下さい。

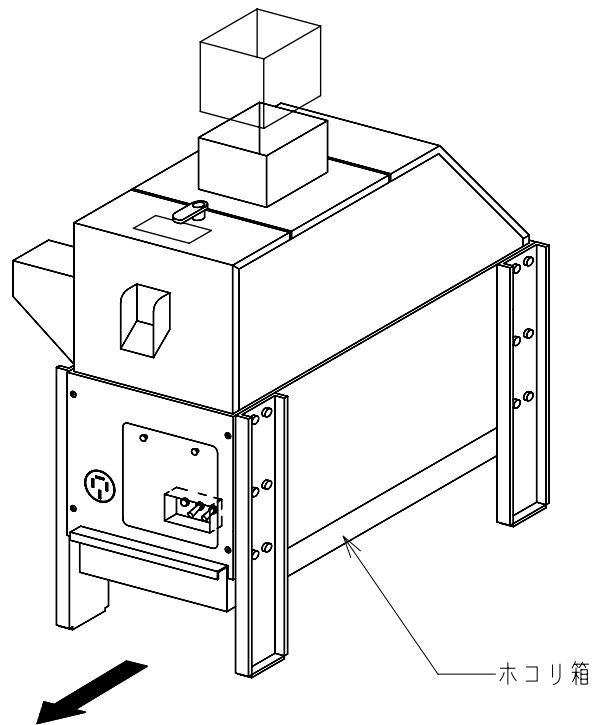
4-3. ホコリ箱（石拔機に蓄積されるホコリ・糠）の掃除方法 _____ *



警告： 点検・掃除等の作業を行う場合、必ず電源プラグを抜いて下さい。
安全上支障をきたす場合があります。

- 大量に又は長期間使用しますと米のホコリ・糠等が石拔機底部のホコリ箱に蓄積します。
蓄積したホコリ・糠等が石拔装置の揺動部に接触しますと本機に悪影響を与えます。
定期的にホコリ箱を引き出して点検・掃除して下さい。

（ホコリ箱の詳細は12ページの2-8：ホコリ箱のセット方法参照）



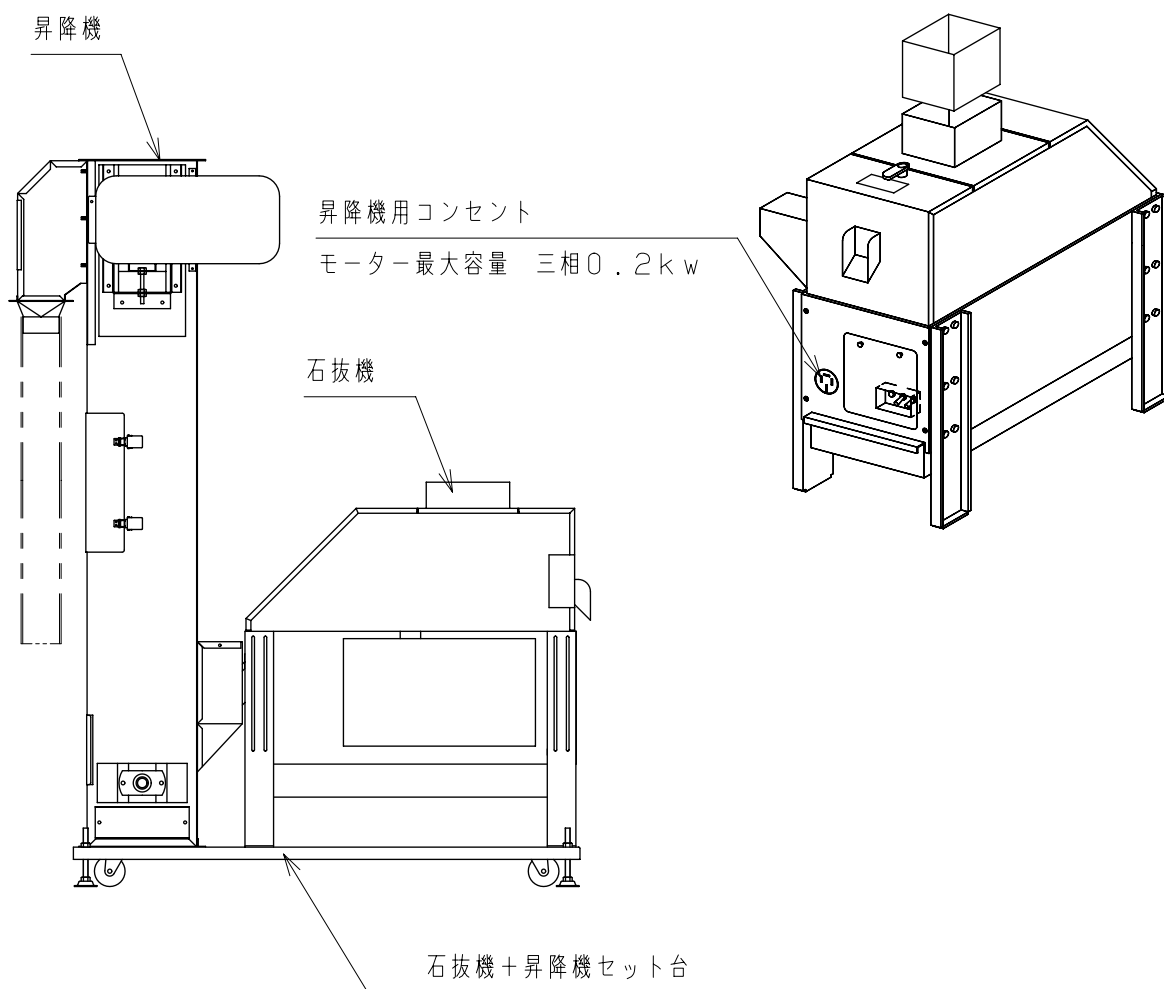
注意

大量に又は長期間使用しますと米のホコリ・糠等が石拔機底部のホコリ箱に蓄積します。
蓄積したホコリ・糠等が石拔装置の揺動部に接触しますと本機に悪影響を与えます。
定期的に石拔機のホコリ箱を引き出してホコリ・糠等が蓄積していないか点検して
もし蓄積していたならば掃除して下さい。



警告： 点検・掃除等の作業を行う場合、必ず電源プラグを抜いて下さい。
安全上支障をきたす場合があります。

- 本機後部に昇降機を連結する時に使用するコンセントが付属されております。
連結する機器のモーター最大容量は三相200V・0.2kwです。
連結時の回転方向調整は連結側でお願いします。



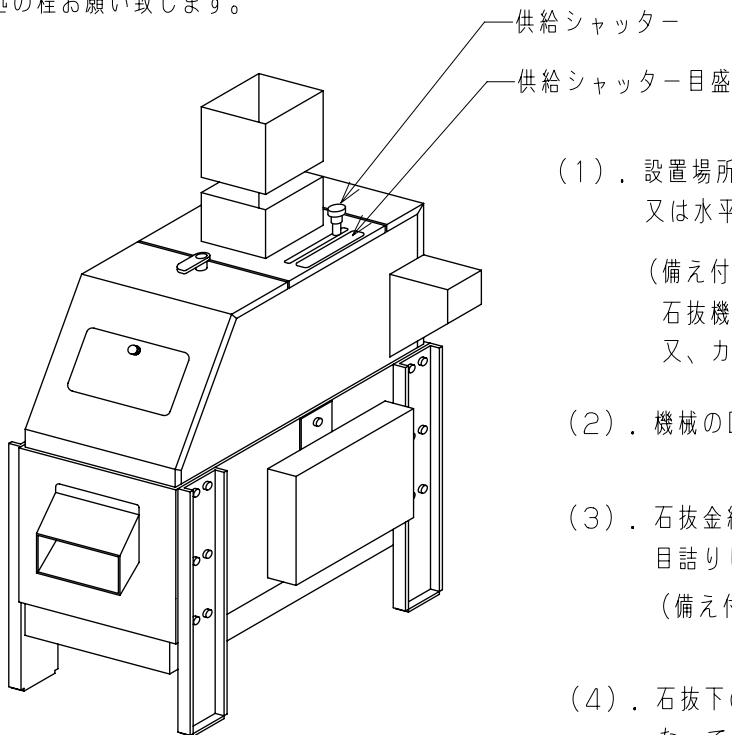
5. 不調なときの原因と対策

5-1. 石が取れにくい場合は _____ *



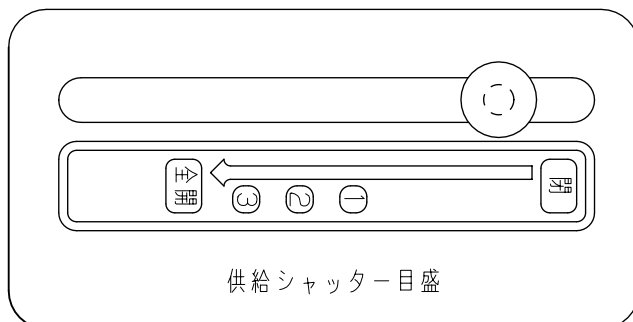
警告： 点検・掃除等の作業を行う場合、必ず電源プラグを抜いて下さい。
安全上支障をきたす場合があります。

- P-35B型において石が取れにくい場合は下記のことにご注意し
対処の程お願い致します。



- (1) . 設置場所（床）に”カッタ”がある。
又は水平でない。
(備え付けの水平器で調べて
石抜機が水平になるように
又、カッタがないようにして下さい)
- (2) . 機械の回転方向が逆である。
- (3) . 石抜金網の風穴が糠・ホコリ等で
目詰りしていないか。
(備え付けのブラシで掃除して下さい)
- (4) . 石抜下のホコリ箱が満杯に
なっていないか。
- (5) . 能率が出過ぎていないか。
(供給シャッターを目盛”2”ぐらいまで
絞して下さい)

以上の点にご注意して下さい。



注意. 軽石/石灰石/泥又は砂の固まり等の
米より比重の軽い物は取れません。



警告： 点検・掃除等の作業を行う場合、必ず電源プラグを抜いて下さい。
安全上支障をきたす場合があります。

状 態	原 因	対 策
石拔機が作動しない	電源が入っていない (コードの断線) (ヒューズ / フレカ断)	電源及び配線を確認して下さい (電気工事店に調査・修理依頼)
	サーマルが作動している (異常ランプが点灯している)	原因を取り除きサーマルを リセットして下さい
	操作が間違っている	取説に従って操作して下さい
	モーター不良	当社又は購入店にご相談下さい
サーマルが作動する (異常ランプが点灯する)	電圧が低下している	もよりの電気工事店に調査・修理依頼
	配線が不適正	もよりの電気工事店に調査・修理依頼
	コードリールを使用している	コードリール・延長ケーブル等の 長い線は使用しないで下さい
	電源又は配線上で異常がある	電源及び配線を確認して下さい
	ベルトがゆるんでいる	ベルトを張って下さい
	ホコリ箱にホコリ・糠がたまっている	取扱説明書通りに掃除をして下さい
	モーター不良	当社又は購入店にご相談下さい
石抜に時間がかかる (能率が低下する)	老化米・クスマ・半ツキ米など 米の状態によって能率は低下します	
	供給シャッターの開きが不適正	調整して下さい
	石抜金網に糠が付着している	石抜金網を掃除して下さい
	モーターの回転方向が逆である	正規の回転方向にして下さい
	ベルトがゆるんでいる	ベルトを張って下さい
石が取れない	本機の水平が出ていない	水平に設置して下さい
	石抜金網に糠が付着し 網目が塞がっている	石抜金網を掃除して下さい
	米の供給が多過ぎる	シャッターの開きを調整して下さい
	モーターの回転方向が逆である	正規の回転方向にして下さい
	軽石・石灰岩・コンクリートの破片など 米より比重の軽い物は取れません	

 警告

- この取扱説明書を熟読され充分理解された上で、本機の操作及び保守・点検を行って下さい。
- この取扱説明書を本機の操作及び保守・点検を行う場合にいつでも見られるように大切に保管して下さい。
- 精米機を友人等他の人に貸し出して使用される場合は、必ず本取扱説明書を機械と共に貸与して下さい。

保 証 規 定

1. 保証期間

納入日より起算して満1ヶ年といたします。

但し業務用は3ヶ月といたします。

(保証期間が過ぎると総て有償となります。)

2. 保証内容

保証期間に於いて、本機を構成する部品、材料等に、設計製作上の欠陥があらわれ、弊社がこの欠陥を認めた場合に限り、弊社特約販売店または指定サービス工場で当該部品の取り替え、または修理を無料でいたします。

3. 適用除外

保証期間内でも、右記の場合には保証いたしません。

(1) 使用上、並びに取扱上の不注意、過失、点検不備によって、故障が生じた場合

(2) 弊社が規定する仕様の限度を越えて使用し故障した場合。

(3) 弊社が認めない改造変更が原因となって故障した場合。

(4) 弊社純正部品以外の部品使用が原因で故障した場合。

(5) 弊社特約販売店、または弊社指定サービス工場以外で修理され、故障した場合。

(6) 故障判定資料の不十分なものおよび損傷部品を紛失された場合。(故障交換部品はクレーム判定完了まで保管して下さい。)

購入年月日	平成 年 月 日
購入先 (販売店及び農協)	